

日本教育経営学会 2014 年度実践推進委員会(第 7 回)

2014 年 6 月 6 日(金) 17 時 00 分～18 時 00 分

北海道教育大学釧路校

報告事項

1. 実践研究賞 応募者なし。

2. 活動報告 第 5 回実践推進委員会開催 (2013/7/7 於：九州大学)

第 6 回実践推進委員会開催 (2014/2/22-23 於：愛媛大学)

* 「次世代スクールリーダーのためのケースメソッド入門」研修会開催 (2013/12/25～27、
於：九州大学) 実践推進委員、一般会員からの参加。

* 紀要第 5 6 号 第 1 回実践研究フォーラム：「校長の専門職基準」再検討の方向性を問う

* 第Ⅲ期実践推進委員会ホームページにて情報を随時発信中

<http://www.education.kyushu-u.ac.jp/~schoolleader/37.html>

3. 活動計画

* 「校長の専門職基準」準拠『ケースメソッド教材集』2014 年 4 月発行

(科学研究費基盤研究(B)「校長の専門職基準」を踏まえたスクールリーダー教育の可能性」報告書)

→ 日本教育経営学会実践推進委員会編『次世代スクールリーダーのためのケースメソッド入門』(仮題) 花書院、2014 年夏 刊行予定

番号	タイトル	担当者
巻頭言	巻頭言 序文	牛渡淳 元兼正浩
第 1 部	基礎整理	
1	ケースメソッドとは何か	浅野良一
2	校長の専門職基準とは	元兼正浩
3	ケースメソッドで何を学ぶのか	波多江俊介
4	用語解説 (仮題)	畑中大路
第 2 部	ケースメソッドの実際(1)	
1	校長、恩を仇で返すのか コメント	川上泰彦
2	校長先生、お話しがあるのですが!! コメント	大竹晋吾
3	3 人からの訴え コメント	高木亮
4	校長先生どうにかして下さい!! コメント	竹内伸一
5	そんなに気に病むことはありませんよ コメント	元兼正浩
6	まさか、こんなことに コメント	浅野良一
7	校長先生、どうしますか? コメント	日高和美
8	通常の学級では限界があるんです コメント	大野裕己
9	ケースメソッド研修の実際 (仮題)	金子研太

第3部 ケースメソッドの実際(2)

- 1 「学校ははじめを放置しているのか！」～批判を拡大させないためにはどうしたらよいか～
- 2 クラス替えの保護者の要望は聞き入れるべきか
- 3 校内研究への教職員の意欲と協力体制をどのように立て直すか
- 4 校長として学校をどのように「開いて」いくことができるだろうか
- 5 対立する二つの自治区のはざままで
- 6 本来は力のある教員と同調的な教師集団をどう変えていくか？
- 7 先生、熱が下がりにません
補足資料（校外活動関係書類例）
- 8 A男とB男の決闘の果てに・・・
- 9 特定の教員、生徒の身だしなみ・生活態度等の乱れにどう対処するか。
- 10 国旗・国歌を巡る学校現場の対立にどう対応するのか
- 11 やる気満々の新任、はなまる校長・・・学校ビジョンをどのように共有させるか
- 12 閉鎖的な体質を改善し、学校の根幹である授業の質を高めていくには？
- 13 有名監督は体罰教師！？

議題

1. 第2回実践研究フォーラムについて

6月8日(日) 10:45～12:45

会場 403 講義室

学校管理職養成の国際的動向を問う

米国における学校管理職養成と専門職基準	大野裕己（兵庫教育大学）
英国における学校管理職養成と専門職基準	金川舞貴子（岡山大学）
中国における学校管理職養成と専門職基準	李昱輝（上海師範大学）
韓国における学校管理職養成と専門職基準	梁鎬錫（大韓民国教育部）

2. 今後の「校長の専門職基準」の検討について

管理職リーダーシップ向上研修「教師塾」(熊本市)

教頭・ミドルリーダー「能力育成表」(金沢市校長会)

3. P S 科研の本年度の研究計画について